

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号
実用新案登録第3141951号
(U3141951)

(45) 発行日 平成20年5月29日 (2008. 5. 29)

(24) 登録日 平成20年5月7日 (2008. 5. 7)

(51) Int.Cl.

F I

B 4 4 C 3/02 (2006. 01)

B 3 2 B 3/16 (2006. 01)

D O 4 D 9/00 (2006. 01)

B 4 4 C 3/02 Z

B 3 2 B 3/16

D O 4 D 9/00

評価書の請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号	実願2008-1459 (U2008-1459)	(73) 実用新案権者	000147590
(22) 出願日	平成20年3月13日 (2008. 3. 13)		株式会社青山
			愛知県名古屋市中区栄3丁目10番34号
		(74) 代理人	100070024
			弁理士 松永 宣行
		(72) 考案者	青山 隆治
			愛知県名古屋市中区栄3丁目10番34号
			株式会社青山内

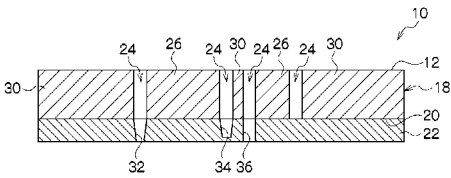
(54) 【考案の名称】 装飾シート

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 装飾模様をきれいに切り離すことができる装飾シート及びそのリボンを提供する。

【解決手段】 装飾シート10は、2種類の花を表した模様が表面12にカラー写真印刷されたシート基材18と、シート基材18の裏面20に塗布された感熱性接着剤層22とを備える。シート基材18は各装飾模様の輪郭の全周に沿う切れ目24を備える。シート基材18は、装飾模様をそれぞれ含むシート基材片26と、これらのシート基材片26を包囲するシート基材片30とを含む。各シート基材片26は感熱性接着剤層22を介してシート基材片30に接続されている。

【選択図】 図3



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

表面に装飾模様が印刷されたシート基材であって前記装飾模様の輪郭の全周に沿う切れ目を有するシート基材と、該シート基材の裏面に設けられた感熱性接着剤層とを備え、前記シート基材は、前記装飾模様を有する第 1 のシート基材片と、該第 1 のシート基材片を囲む第 2 のシート基材片とを含み、前記第 1 のシート基材片は前記感熱性接着剤層を介して前記第 2 のシート基材片に接続されている、装飾シート。

【請求項 2】

前記感熱性接着剤層は前記切れ目に連通する、間隔を置いて設けられた溝を有する、請求項 1 に記載の装飾シート。

【請求項 3】

前記感熱性接着剤層は前記切れ目に連通する、間隔を置いて設けられたスロットを有する、請求項 1 に記載の装飾シート。

【請求項 4】

請求項 1 から請求項 3 のいずれかに記載の装飾シートからなる、リボン。

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、カーテン、衣服等の布地製品の装飾に用いられる装飾模様を備える装飾シートに関する。

【背景技術】

【0002】

従来、前記布地製品の装飾手段として装飾シートが用いられている。装飾シートには、その使用に際し、前記布地製品の表面にアイロン等の熱によって容易に取り付けられるものがある（例えば、特許文献 1 参照）。その装飾シートは表面に装飾模様が印刷され、該装飾模様の輪郭に沿う切れ目が間隔をおいて連なる切り取り線を備える。

【特許文献 1】実用新案登録第 3 1 3 3 2 5 0 号

【0003】

しかし、装飾模様を切り取り線に沿って装飾シートから切り離す際、切り取り線の切れ目が浅いと、装飾シートに掛かる力の方向が一定しないため、切り取り線に沿ってきれいに切れない場合がある。また、装飾シートから切り離す際の、使用者の力加減によっては、切り取り線に沿って切り離すことができず、装飾模様自体が裂けてしまう場合もある。

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0004】

本考案の目的は、装飾模様が裂けることなく装飾模様をきれいに切り離すことができる装飾シートを提供する。

【課題を解決するための手段】

【0005】

本考案に係る装飾シートは、表面に装飾模様が印刷されたシート基材であって前記装飾模様の輪郭の全周に沿う切れ目を有するシート基材と、該シート基材の裏面に設けられた感熱性接着剤層とを備える。前記シート基材は、前記装飾模様を有する第 1 のシート基材片と、該第 1 のシート基材片を囲む第 2 のシート基材片とを含む。前記第 1 のシート基材片は前記感熱性接着剤層を介して前記第 2 のシート基材片に接続されている。

【0006】

前記感熱性接着剤層は前記切れ目に連通する、間隔を置いて設けられた溝又はスロットを有することができる。前記装飾シートをリボンにすることができる。

【考案の効果】

【0007】

本考案によれば、前記装飾模様の輪郭の全周に沿う切れ目に沿って前記感熱性接着剤層

10

20

30

40

50

を裂くことによって前記第２のシート基材片から前記装飾模様をきれいに切り離すことができる。

【０００８】

前記感熱性接着剤層が、前記切れ目に連通する、間隔を置いて設けられた前記溝又は前記スロットを有すれば、前記感熱性接着剤を溝又はスロットに沿って裂くことができる。これにより、前記第２のシート基材片から前記装飾模様を容易に切り離すことができる。

【考案を実施するための最良の形態】

【０００９】

以下、図面を参照して本考案に係る装飾シートの実施例について説明する。

【００１０】

図１を参照すると、衣服等の布地製品の装飾のために使用される模様を備えるリボン状の装飾シートが符号１０で示されている。

【００１１】

装飾シート１０は、２種類の花を表した模様１４、１６が表面１２にカラー写真印刷されたシート基材１８と、シート基材１８の裏面２０（図２、３）に設けられた、例えば塗布された感熱性接着剤層２２（図２、３）とを備える。模様１４、１６は模様１４、１６の順序で装飾シート１０の長手方向に連続する。

【００１２】

シート基材１８は各装飾模様１４、１６の輪郭の全周に沿う切れ目２４を備える。シート基材１８は、装飾模様１４、１６をそれぞれ含むシート基材片２６、２８と、これらのシート基材片２６、２８を包囲するシート基材片３０とを含む。

【００１３】

シート基材片２６と、シート基材片３０とは、切れ目２４によって互いに離隔しているが、両シート基材片２６、３０は感熱性接着剤層２２を介して接続されている。同様に、シート基材片２８と、シート基材片３０とは、切れ目２４によって互いに離隔しているが、両シート基材片２８、３０は感熱性接着剤層２２を介して接続されている。

【００１４】

図２、３を参照すると、感熱性接着剤層２２は、切れ目２４に連通する、スロット３２、溝３４、及びスロット３６を有する。図３に示すように、スロット３２は感熱性接着剤層２２の層厚方向に貫通し、その縦断面形状は台形状である。溝３４は感熱性接着剤層２２の層厚方向に貫通せず、その縦断面形状は台形状である。スロット３６は感熱性接着剤層２２の層厚方向に貫通し、その縦断面形状は矩形状である。

【００１５】

使用者は、感熱性接着剤層２４を手で裂くことができるが、感熱性接着剤層２４に前記スロット３２、溝３４、又はスロット３６を設ければ、前記スロット３２、溝３４、又はスロット３６が感熱性接着剤層２４の切断強度を弱めることができる。これにより、手で感熱性接着剤層２４を容易に裂くことができる。

【００１６】

次に、装飾シート１０の製造方法を説明する。シート基材１８の表面１２に模様１４、１６を印刷し、その裏面２０に接着剤層２２を塗布し、レーザ、熱源等の切断手段によって、接着剤層２２を切断しないように模様１４、１６の輪郭の全周に沿ってシート基材１８を切断することによって製作される。

【００１７】

切断手段としてレーザを用いれば、レーザ出力の強弱を調整することによって、感熱性接着剤層２２にスロット３２、溝３４、及びスロット３６を形成することができる。図示の例では、スロット又は溝形成時のレーザ出力の強度は、スロット３６、スロット３２、及び溝３４の順に大きい。

【００１８】

切断手段として熱源やレーザを使用すると、切れ目２４におけるシート材料は溶融されるので、ホツレを防ぐことができる。

10

20

30

40

50

【0019】

装飾シート10の使用に際しては、使用者は、切れ目24の下方に位置した感熱性接着剤層22を層厚方向に手でちぎって、又はカッター等によって切断し、シート基材片26、28を感熱性接着剤層24とともに装飾シート10から切り取る。シート基材片26、28を衣服等の布地製品に位置付けた後、シート基材片26、28の表面12からアイロン等の熱源を押し付ける。これにより、シート基材片26、28の裏面20の感熱性接着剤層24は熔融し、シート基材片26、28は布地製品に接着する。

【0020】

装飾シート10は、ナイロン繊維、ポリエステル繊維のような合成繊維製、アセテートのような化学繊維製、天然繊維製等の織物、ポリプロピレン製やビニル製のテープ等から構成される。

10

【0021】

感熱性接着剤層22はシート基材18の裏面20に塗布されたが、感熱性接着剤層はシート基材18の裏面20に積層（ラミネート）されてもよい。

【産業上の利用可能性】

【0022】

本考案は、上記実施例に限定されず、本考案の趣旨を逸脱しない限り、種々変更できる。

【図面の簡単な説明】

【0023】

20

【図1】本考案に係る装飾シートの実施例を示す部分平面図。

【図2】図1の裏面図。

【図3】図1の2-2線に沿って切断された拡大概略断面図。

【符号の説明】

【0024】

10 装飾シート

12 表面

14、16 模様（装飾模様）

18 シート基材

20 裏面

22 接着剤層

24 切れ目

26、28 シート基材片（第1のシート基材片）

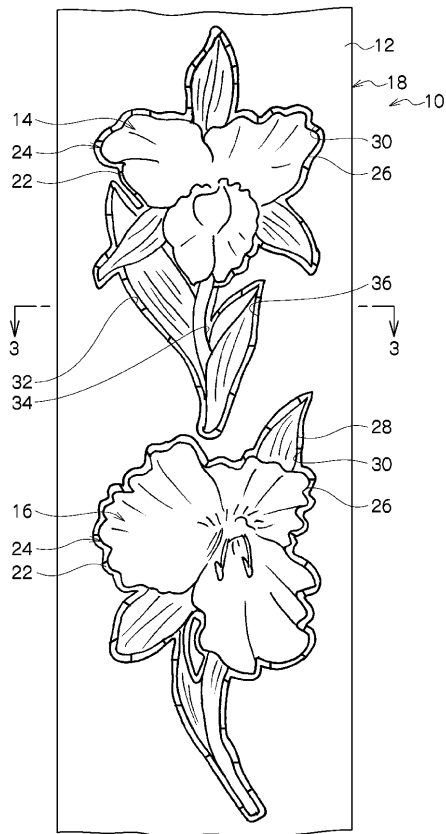
30 シート基材片（第2のシート基材片）

32、36 スロット

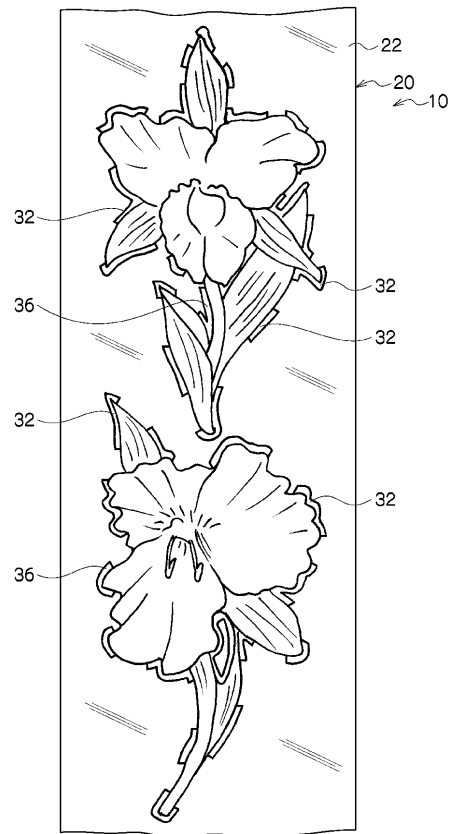
34 溝

30

【図 1】



【図 2】



【図 3】

